

ウアー、太陽がお空いっぱい、楽しいなあ～。
砂遊び、ブランコ、すべり台、何をしようかなあ。
この日が来るのを待っていたんだ。
毎日、おかあさんのお守り!!たいへんなんだよ。
だから、このストレスをぶっ飛ばすために、一生懸命遊ぶんだよ。
あらあら、あの子泣いてるよ。
新入りかな。こちらへおいでよ。
一緒にあそぼ。



おかあさんと一緒に

自然いっぱいの水沢

の中を歩かせてもらったりします。

平坦な道を歩くのとはまた違った感触は、ぐっと足に力も入りとってもいい刺激になる。



▲散歩に出かけて土手を登ります。でもちょっと休憩。

360度みわたせば茶畑や、田んぼがあり、西には鈴鹿山脈がそびえ、足見田神社コース、ふれあい牧場コース、ヤマギシの動物など子どもたちは自然を満喫して散歩に出かけます。

稲刈りの終わったでこぼこの田んぼ

一番茶の新芽をてんぶらにして食べたりするのは、水沢ならではの事です。

目で見て、手で触れて、耳で聞いて、匂いをかいで、味わって五感をフルに活躍させて子どもたちは生活しています。



ゆったりと穏やかに接してくれるおじいちゃん おばあちゃん

親だけでなく、世代を超えてかかわりを持つことはとても大切なことです。

家族はもちろん地域のひとの中で成長するということは色々な考え方、行動に触れることができ、また、地域の人々とのかかわりが一層密になり、挨拶など自然に身につくことも多くなります。

たくさんの人とかかわりを持った子どもたちは、自分を大切に、人も尊重できる心豊かな人に育つことでしょう。



◀子どもたちに負けじとはりきるおばあちゃん！
後には、おじいちゃんもいます。

おじいちゃん、おばあちゃん大好き



▲おじいちゃん、おばあちゃんに目を細めて見てもらった運動会

輝いている日

可能性いっぱい

水沢保育園のあそぼう会に参加してみませんか

24時間子どもと顔を合わせて生活していると、そんな気持ちを持つことは、子育てにあつて、当然です。親として失格だと思わないでください。それは正常範囲内のことなのです。深くから深くに考えないでください。親にゆとりがあるかどうかを、子どもは大人の顔色を伺い敏感に察知しようとしています。そんな親子の大変さを少し軽くしてくれる場に出かけてみませんか。

水沢保育園では「あそぼう会」を毎木曜日に開催しています。親やおばあさんと一緒に来て、家庭とは違った広い環境で安心してあそんでもらっています。同じ子どもを持つ親同士やおばあさんとも仲良しになって、子育ての情報を得る場にしていただければ、と思っています。

水沢保育園



▲さあ、紙芝居始まるよ。今日は、何の紙芝居かな？

助けられ上手がゆとりの子育てのコツ！

子育ては楽しいですか？

大変ですか？

子育てで真つ最中の方に「子育て、大変ですねえ」と挨拶するように言葉をかけたり、かけられたりすることはないですか。そんな言葉をかけられると目の前の我が子を見ながら「子育ては大変なんやなあ。」とイライラがつのり落ち込んでしまいがちですね。

「子どもは、もちろんかわいいけれど、うるさく感じたり頭にくることもある。でも一晩寝たり、夫に文句を言ったら立ち直ることができる。」こんな気持ちを抱いたことは、誰でもあるのではないのでしょうか。

「おもしろかったなあ～また、あしたもしよな」と友だち同士で楽しさを感じ合えたり、時には喧嘩をしたり。

子どもたちは、遊びが仕事です。

友達と遊ぶことも、お父さん、お母さんと一緒に遊ぶことも、楽しくて大切なことです。

大きいお兄さんたちのあそびをじっと見ている1才と2才の子どもたち



お父さん、お母さん、大きくなっても子どもは、抱っこやおんぶが大好きです。手をつないでスキップするのもいいし、肩ぐるまをして歩くのも楽しい。

子どもは遊びが仕事



▲大きな学校のプールで水しぶきや歓声をあげながら、冷たい水の気持ちよさを感じる子どもたち

◀手と手で触れ合い、暖かさが伝わります。

水沢三三情報

平和祈念祭開催される

十月一日、水沢地区社協主催の平和を願う集いが、地区市民センターで開かれた。過去の戦争の惨禍を二度とくりかえさないため、次世代に戦争の悲惨さを語り継ぐとともに、未来へ向かつて、私たち一人一人が平和を希求しなければなりません。



二十一世紀を迎え、だれもが参加できる平和祈念祭としていきたい。多くの子どもたちも参加し、「故郷」の歌声とともに、おだやかな心を持ってたひとときでした。

農林水産大臣賞受賞



宮妻町の鎌田秀臣さんが平成15年度の第57回関西茶業振興大会の茶品評会かぶせ茶の部で一等一席の農林水産大臣賞を受賞した。

もみじ谷遊歩道完成

景勝の地「もみじ谷」。三交バス停宮妻口より西へ歩き、谷へ降りると、南北にのびる東海自然歩道に出合う。

この歩道に沿って、イロハモミジの大木、アカシデの巨木が谷底をすつぽり包む。美しい紅葉はもちろん、新緑もまた格別である。ゆつたりとした気分で散歩

また、四日市市は産地賞も受賞し、かぶせ茶の産地であることを示した。



できる遊歩道が整備された。ぜひ、楽しみたい地である。

ご寄付ありがとうございました

水沢地区社会教育福祉推進協議会に、平成十四年十一月以降平成十五年九月末現在までにご寄付いただいたのは、次の方々です。今後とも、「生活改善運動」にご協力いただきますようお願いいたします。

- 吉岡 昭 様 (東町)
- 伊藤 俊彦 様 (東町)
- 鎌田 俊治 様 (宮妻町)
- 辻 晋 様 (中谷町)
- 清水 和彦 様 (三本松町)
- 豊田 宗浩 様 (西條町)
- 川島 龍雄 様 (本町)
- 上村 博 様 (茶屋町)
- 伊藤 志子 様 (谷町)
- 野坂 賢司 様 (水沢野田町)
- 田中 正保 様 (宮妻町)
- 鎌田 貞明 様 (宮妻町)
- 清水 一雄 様 (三本松町)
- 加藤 孝夫 様 (水沢野田町)
- 畑中 秀徳 様 (北谷町)
- 森 たね子 様 (本町)



二歳になる弟をおんぶして私の家に、ちよくちよく小鳥を見に来る中学生の男の子がいる。

「お兄ちゃんチュッチュいるよ」と片言で話す声。

子守り



二人で仲良く小鳥を眺めていた。

同じことを幾度もくりかえす弟に優しく返事をしながら子守りを続けている兄の姿に

こんだり、テレビゲームに夢中になり、手伝いなどほとんどしてくれないのが当たり前という有様、また、塾、習い事で忙しくて、とても疲れて

私は何か懐かしいものを観、感動したと言うよりこの兄ちゃんを誇らしげに思った。

近ごろの中学生くらいの子

といえれば人の迷惑を省みず道に座りこんで携帯電話で話し

いる子もいる。現代つ子の生活は、めまぐるしく心のゆとりがないと、近ごろつくづく感じる。

そんな中で、弟の子守りを

するこの兄ちゃんは、自分で

何かが間違っていると思う。とても悲しいことだ。